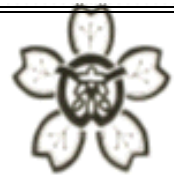


朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校
児童数 963名
令和4年2月1日号



寒風に耐えて咲く時期をかえて

校長 田邊 雅也



この季節の寒さを耐え忍べば、春がやってきて花を咲かせると言います。立春がやってくる2月4日頃は、まだ一年で最も寒い時期です。暦の上では春の始まり、と言われても、今一つ実感がわきません。私が若い頃、「寒風に耐えて咲く時期をかえて」と書かれた手作りの絵手紙をいただいたことがあり、当時は「絵が上手で、素晴らしい趣味だな。」としか感じていなかったのですが、今になってこの言葉の深さを感じています。

「自律」で大輪の花を

3学期の始業式は、箱根駅伝の話題から子供たちに「自律」について話しました。目標を決めて「自分から」頑張り、この上ない喜びを感じてほしいからです。思い描いていたことが順調に進んでいる人、そうでない人、様々だと思います。うまくいっていない人は、絵手紙にあるように「寒風に耐えて咲く時期をかえて」という言葉になります。今は小さな蕾かもしれませんが、寒さに耐え忍び、これから大輪の花を咲かせるのをじっと待つのです。目に見える結果はまだないかもしれませんが、粘り強く取り組むことが大切です。これも「自律」です。

昔も今も、力を蓄え、花を咲かせるよう信じた

太古の昔も今も、この季節のように耐え忍び、いつか大輪の花を咲かせるぞ、と心を奮い立たせ信じてきた人がたくさんいました。そんな言葉や歌を座右の銘にしたり、エネルギーをもらったりしている方もたくさんいらっしゃると思います。

ちょっと調べただけでも、右のようにたくさんあります。精一杯努力し続けていけば、目には見えなけれど、きっと明るい未来がやってくる、という希望を感じます。昔も今も、大きな花を咲かせたい、と努力し、信じてきた人が多いことがわかります。

耐え忍び未来の希望を願った言葉等

- 立春大吉（出雲大社 禅寺 等）
- 明けない夜はない（シェイクスピア）
- 耐雪梅花麗（西郷隆盛）
- 日はまた昇る（ヘミングウェイ）
- 止まない雨はない（倉嶋厚）
- そりゃそりゃそうじゃん
（はなかつぱ主題歌 Eテレ）
- 心を燃やせ（煉獄杏寿郎/鬼滅の刃）
- 群青（YOASOBI）
- 燃えよ（藤井 風） 等

「花あり」は未来の自分の姿

間もなく立春を迎えます。今、自分から頑張っていることを粘り強く続けていけば、その先には「成長」という名の幸福が待っています。特に6年生の登校日数は（2月1日から）残り34日です。粘り強く努力し、力を蓄え、小学校6年間の総まとめとして中学校進学への準備期間です。1年生から5年生も、「0学期」と位置付け、進級に向けた総仕上げをしている学級もあります。

オミクロン株が猛威を奮い、子供も大人も世の中も辛抱の時が続いています。しかし、iPadがもたらした教育活動の大転換は子供を自律させ、一人一人が探究し、自分らしさを伸ばす授業へ転換するビッグチャンスとなっています。六小の合言葉「花あり」は、未来の自分の姿だと思います。寒い季節に自分の蕾を膨らませ、一人一人がそれぞれ違う大輪の花を咲かせてほしいと願っています。立春は明るい未来への扉を開くスタートです。

先日、東京オリンピック・パラリンピック2020で実際に金メダリストが登壇した表彰台をいただきました。メダリストの皆さんも辛抱しながら大きな花を咲かせたのです。だから皆に感動を与えるのですね。

